※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	異文化理解	２単位	第３学年	Speaking Gym Basic , Listening Pilot 自主教材

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学入試で必要な英語力だけでなく、留学・大学卒業後も使える英語力を育むことを目的としています。この授業は、CEFR-J レベル別に学習内容を展開していきます。Listening や Speaking については副教材を使い、Writing や Reading については自主教材を使い、自分の意見を話したり書いたりする言語活動を多く行います。英語を通じ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを様々な点で考察し、論理的に伝える能力を伸ばすことを目標とします。時事に即した社会的な問題について自ら考えて答える問題を通して、大学入試や資格試験に、柔軟に対応する力を養います。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「異文化理解」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる。	時事英語インタビューテスト、スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	時事英語ライティングテスト	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。	時事英語リスニングテスト	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。	時事英語リーディングテスト、音読テスト

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして情報や考えなどを適切に伝えている	英語を聞いたり読んだりして情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに言語の背景にある文化などを理解している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CEFR PreA1-A1.1 Reading Listening Writing Speaking (10 時間)	やりとり（質問をしたり、質問に答えたりできる） リスニング（説明文・日常会話・手続きの流れ）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現を、意欲的に習得する。	英文を前から戻らずに読む。	ワークシートを用いたペアワークにおいて、お互い協力しながら、発表を続けている。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現を、積極的に活用する。	自分のアイデアを簡単な英語で表現する。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	意図を理解しながら会話の流れをつかむ。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	状況をイメージしながら聞き取る。	・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
CEFR A1.2-A1.3 Reading Listening Writing Speaking (10 時間)	発表（ストーリーを伝えることができる） リスニング（テレビ番組、アナウンス、ストーリーの流れ）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現を、積極的に活用する。	会話や話の展開についていく。	ワークシートを用いたペアワークにおいて、お互い協力しながら、発表を続けている。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	論理的な流れのある文章を書く。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	人物の行動や気持ち、ストーリーの展開を理解できる。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	豊かな言語表現を味わいながら聞く。	・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

※令和３年度以前入学生用

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CEFR A2.1-A2.2 Reading Listening Writing Speaking (10 時間)	やりとり（お願いできる・要望に応えることができる） リスニング（位置の説明、体験談、スピーチ、町の紹介）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現を、積極的に活用する。	説明の流れを理解して論旨をつかむ。	ワークシートを用いたペアワークにおいて、お互い協力しながら、発表を続けている。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	相手にお願いをしたり、苦情を言ったり、相手を説得する表現方法を学ぶ。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	インフォメーションギャップがあり、やり取りの中で互いの情報の差を埋めあう力をつける。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	実際のコミュニケーションを反映させたロールプレイをとして、相手と意思疎通できる力を向上させる。	・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
CEFR B1.1-B1.2 Reading Listening Writing Speaking (10 時間)	やりとり（相手の状況を踏まえて、自分の気持ちを伝えることができる） リスニング（予定、電話案内、対話の詳細）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現を、積極的に活用する。	相手の状況を踏まえて、説得、助言し、気持ちを伝えることができる。	ワークシートを用いたペアワークにおいて、お互い協力しながら、発表を続けている。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	相手の状況を踏まえて、説得、助言し、気持ちを伝える表現を学ぶ。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	場面設定に多く入っている情報をつかみ、その状況を理解し、対話を行う力をつける。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	実際のコミュニケーションを反映させたロールプレイをとして、相手と意思疎通できる力を向上させる。	・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

※令和３年度以前入学生用

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
CEFR B2.1-B2.2 Reading Listening Writing Speaking (10 時間)	発表（自分の経験や考えをまとまりのある英語で話すことができる） リスニング（電話での対話、道順、伝記）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現を、積極的に活用する。	一つの話題について一定の時間話し続ける力を育成する。	ワークシートを用いたペアワークにおいて、お互い協力しながら、発表を続けている。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	自分の将来、自分の住んでいる町、過去の経験について伝える表現を学ぶ。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・コミュニケーションの様々な場面での頻出表現が、理解できる。	ある程度の長さの英語を話す内容を理解する。	ワークシートに書く。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	一人が話し、相手はその間聞き役に徹する状況の中で、一つの話題について一定の時間話し続ける力を育成する。	・コミュニケーションの様々な場面の背景や文化を理解する。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。